

# 第10回 檜原市総合政策審議会

日時：令和4年6月29日（水）午後1時30分～  
場所：Web会議

## 出席者

- 委員：東委員、桐山委員、小西委員、清水委員、高山委員、土井委員、中村委員、久委員、前川委員、榎谷委員
- 事務局：山風呂理事、戸田企画戦略部長、加護財務部長、若森企画戦略部副部長、芦高財務部副部長、清水企画政策課長、伊藤財政課長、西川企画政策課主幹、山本企画政策課長補佐、谷本企画政策課長補佐、友井統括調整員、大前主査

## 1. 開会

## 2. 委員紹介

事務局より委員紹介。

## 3. 議事

檜原市第4次総合計画前期基本計画 施策分野評価シートについて

### 事務局

それではただいまから議事に入ります。ここからは会長に進行をお願いしたいと思います。久会長よろしくお願ひいたします。

### 久会長

それでは私の方で議事を進めてまいりたいと思います。コロナ禍も少しずつ収まりつつありますが、依然油断できない状況ということで、全体会議は引き続きオンラインで開催します。ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願ひします。

本日は、主に部会に分かれての評価の方法を共有したいと考えております。かなり詳細な資料が送られてきたことで戸惑われている部分もあるかと思ひますので、今回はより効率的な評価の仕方について協議していただければと思ひます。よろしくお願ひします。

まず一つ目の議事に入りたいと思ひます。檜原市第4次総合計画前期基本計画 施策分野評価シートについて、まずは事務局の方から説明してください。

### 事務局

(資料説明)

## 久会長

ありがとうございます。3つ目の議事「評価部会での評価について」において、私からも評価の方法について説明させていただきたいと考えています。今事務局から資料1を中心にご説明いただきましたので、ここでは資料の構成や読み取り方についての質問があればと思いますがいかがでしょうか。

現時点ではご質問がないようなので、3つ目の議事で具体的な評価の方法について私の方から説明させていただいた際に、改めてお伺いしたいと思います。

第2期樫原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シートについて

## 久会長

では次に、「第2期樫原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証シートについて」事務局より説明をお願いします。

## 事務局

(資料説明)

## 久会長

ありがとうございます。ご意見、ご質問につきましては、私の方から3つ目の議事である評価部会での評価についてお話をしてから、全体で質疑応答をさせていただきたいと思いますので、先にご説明申し上げます。

評価部会での評価について

## 久会長

まず樫原市第4次総合計画前期基本計画において私たちが特に見るべきところは、資料1の施策評価書です。そして、第2期樫原市まち・ひと・しごと創生総合戦略において読んでおかないといけないのが資料3-2です。この2点をしっかりと読んでいただいたうえで、部会に臨んでいただければと思います。

まず資料1の中で見るべき項目は「1. 概要」の中にある「目指す姿」です。ここに記載された内容にどれだけ近づくことができたかという観点から、この施策評価シートを見ていただきたいと思います。

次に、「2. 成果を測る指標」にある「施策分野の進捗度」をご覧ください。ここでは、担当者が令和3年度中にどれだけ「目指す姿」に近づくことができたかの評価とその理由が記載されています。例えば、6ページを見ると「C: 目指す姿の実現には努力が必要である」と評価し、その理由として「各事務事業の成果指標において、実績が目標を上回るものが少なかったため」とあります。この評価と理由に対する私の考えとしては、少々納得できないところがあります。何故かと言いますと、資料2の中には事務事業がどの程度進んだのかということが記載されており、その積み上げとして資料1の施策評価シートが作成されているのですが、私たちが知りたいのは、各事業を実施したことで「目指す姿」に近づいているのかどうか、という点です。もう少し具体的に申し上げますと、資料2に「先生の研修を行った」という記載がありますが、研修が実施されたかどうかではなく、研修を実施したことで「目指す姿」に近づくことができたかどうかを知りたいのですが、この施策評価シートにはそのようなことが記載されていないように思います。

続いて、「3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業」ということで、効果があった事業及びその根拠について、上から順に1から5まで記載されています。この部分についても個人的に意見がありま

して、事業自体がどうだったかということについては記載されていますが、「目指す姿」の実現に対してどのような効果があったのか、現状の書きぶりでは見えてこないと思います。今回は担当者も初めてこれを書くので、私の方から記載方法についてご説明はしましたが、まだ上手くお伝えしきれていないところもあり、そのあたりが不十分なもの今年度は多く提出されていると思います。これを読んでいただいたうえで、皆さんに評価してくださいというのは難しいかもしれませんが、また来年度には今年度の事業を評価しますので、今回の部会では不足している部分や改善点などについて挙げていただければと思います。特に書きぶりについて、もう少し我々が納得できるような方向にアドバイスができればと考えています。

そして「4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法」について、3. ではどのような効果があったのかということについて記載されていますが、4. では、取り組みの結果残った課題と、今年度それらをどのように改善しようと考えているのかが記載されています。ここで私達が見なければいけないのは「目指す姿に近づくために残された課題」ですが、この部分についても的確に書ききれていないというように感じています。

もう一度整理しますと、まずこの施策評価書においては「目指す姿」が1番大きな柱であり、ここにどれだけ近づくことができたかという点を評価できるものになりたいと思います。「2. 成果を測る指標」にある、担当者の進捗度に対する評価とその理由を見れば、それが一目でわかるのが理想です。そして「3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業」には、それぞれの事業が「目指す姿」に近づくためにどう効果的だったかということが記載されており、逆に積み残された課題が「4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法」に書かれています。さらに後半にはその改善策も記載されています。すべての施策評価シートがこのような形になることを目指して私たちは議論していくことができると考えていますが、中にはうまく記載されていないものもありますので、それぞれの事業がどうだったかということではなく、担当者がこのシートの流れを理解した上で適切な内容になることを目指して議論していきたいと思います。

そして先ほども少し触れました資料2についてですが、事業1つ1つを評価することは今回の目的ではないので、資料1の内容を根拠づける参考資料として使用していただければと思います。私たちの役割は施策や事務事業の評価ではなく、資料1のPDCAサイクルがきちんと回っているかどうかの評価ですので、よろしくをお願いします。

続いて資料3-2についてですが、こちらはまた違う評価や書き方がなされているので、混乱される方もいるかもしれません。この資料の13ページ以降には、それぞれの基本目標ごとの評価が記載されています。こちらをお読みいただいて、昨年度実施されたそれぞれの取り組みが基本目標の達成に役立ったかどうかを、私たちが評価します。先ほどご説明した総合計画の方では、私たちはA~Dの評価は行いませんが、総合戦略の方では私たちがA~Dの評価を行うことになります。その根拠資料として資料3-2には、各事業における昨年度の取り組みとその成果、残った課題と解決策が担当者によって記載されているので、その積み重ねが基本目標の達成に寄与したかどうかを私達自身で判断し、A~Dで評価します。また、この評価は各部会や審議会全体で一本化するのではなく、各委員による評価の分布をもって審議会としての評価としたいと考えていますので、委員ごとの評価がそのまま評価報告書に掲載される形となります。

1つ、事前に事務局とすり合わせをした点について皆さんにも共有しておきたいのですが、総合戦略の基本目標1については「地の利を活かしたしごとの場づくり」と書かれていますので、単に仕事を増やただけではこの目標達成に近づいたとは言えないので、「地の利を活かした」という点もきちんと評価の対象とする必要があります。このように、目標として書かれている文章を読み解き、その言葉通りになっているかどうかを評価していきたいと思います。

私からの説明は以上となります。先ほどの事務局からの説明も含めて、評価部会に臨むにあたり、ご質問やご意見がございましたらお話しいただければと思います。

## 清水委員

戦略についての質問です。資料3-3の効果検証シートについて、右側にA~Dで評価する欄があり

ますが、これは関連 KPI には係っていないのでしょうか。実際に行われた内容を基に評価を行い、別途 KPI があって全体が評価されるという認識で合っていますか。それとも KPI の状況も加味した上で我々が評価をするのか、そのあたりについて教えてください。

## 久会長

事務局から説明をお願いします。

## 事務局

資料3-3における KPI は、それぞれの重点施策に KPI が設定されていることを示しています。A~D の評価を記入する欄が KPI にかかっていないのは資料の作り方の問題で、当然 KPI も含めて各重点施策がどうだったかということについて評価をお願いしたいと考えています。

## 清水委員

ありがとうございます。ただ、KPI も含めての評価となると非常に難しいところが多いように感じます。質問は以上です。ありがとうございました。

## 久会長

KPI のみに評価の焦点を当ててしまうと、数字を追いかけることが目的化してしまう恐れがあります。あくまで重要指標なので、それ以外のところで総合的に評価していただきたいという意図で、評価の記入欄は KPI から外しているものと理解しています。

先ほど清水委員がおっしゃったように、KPI のみを見るのか、総合的に見るのかが委員によって違ってくと評価が難しいので、基本的には総合的に評価していただきますようお願いいたします。また、KPI の指標そのものが事業の頑張りを表現しきれていないことに気づかれることもあるかと思っておりますので、その際は遠慮なくご意見としてお出しただければと思います。他のご質問はいかがでしょうか。

## 清水委員

もう1点お聞きしたいことがあります。新型コロナウイルス感染症の影響について考慮するべきかという点について、コロナ禍の影響で思うように事業が進められない状況下での頑張りは、私としては評価した方が良いと思うのですが、この辺りはどう考えればよいでしょうか。

## 久会長

この点については、既に他市の先行事例がありますので、私の方からお話しさせていただきます。もしこれが令和2年度であれば、コロナ禍の影響は想定外のものでしたが、今回は令和3年度の評価ですので、新型コロナウイルス感染症の影響は想定内となります。したがって、コロナ禍を前提として事業が進められているべきだと考えられます。確かに目標値を達成できなかったかもしれませんが、コロナ禍を前提としてどんな工夫がなされたのか、またそれがどれ程の効果があったのかということが記載されていなければいけませんし、令和3年度において「コロナ禍の影響で事業が進められなかった」という書きぶりは我々としても認めがたいと考えていますので、そういった視点で評価いただければと思います。

## 事務局

事務局より補足いたします。5月17日に久会長から全庁向けに説明会を開催させていただきました、その中でも、令和2年度におけるコロナ禍は想定外、令和3年度は想定内であることを説明しておりますのでご承知おきください。しかし、提出された施策評価シートや事務事業評価の中には、コロナ禍の影響があったと記載されているものもございまして、全てにおいてその認識がなされているわけではないという点もご理解いただければと思います。

## 久会長

ありがとうございます。これから評価に臨んでいただくにあたり、今は頭の中でご理解いただいている段階かと思いますが、いざ作業に入って手を動かすことで生まれる疑問もあろうかと思いますが、その際は随時事務局に相談しながら進めていただければと思います。

先ほども申し上げました通り、まだ上手く書きまとめられていないシートもありますので、書きぶりについてのアドバイスなども含めて評価やコメントをいただければと思います。担当者の方にとっても参考になるかと思うので、遠慮なくご意見いただければ幸いです。

他にご質問等がなければ、次に進めさせていただきます。

施策分野における市民アンケート及びサブ指標について

## 久会長

それでは、4つ目の議事であります「施策分野における市民アンケートおよびサブ指標について」に進みます。これについても、まずは事務局からご説明をお願いします。

## 事務局

(資料説明)

## 久会長

ありがとうございました。このことについては本日議論するのではなく、それぞれ評価をしていただく中で、市民アンケートに加えた方が良いと思われる項目や、より関連性の高い指標のご提案など、我々がさらに評価しやすくなるようなご意見がありましたら、ぜひ事務局にご提出いただきたいという趣旨でございます。

このことについてご質問やご意見を伺う前に事務局に確認したいのですが、前回の市民アンケートは依頼から回答まで全て Web 上で行ったのでしょうか。

## 事務局

紙とオンラインの両方で実施しました。市民が多く訪れる市役所分庁舎には紙のアンケートを設置しました。

## 久会長

ありがとうございます。なぜそれを確認したかと言いますと、生駒市では、アンケートを依頼する市民

に郵送でアンケート用紙を送り、紙媒体で回答するか、またはその中に入っているQRコードでオンライン回答もできるというような方法で実施していました。すると、ご高齢の市民からも案外オンライン回答の方が楽だというご意見があり、オンラインの回答率が非常に高かったという結果が出ました。

このことについては私の提案シートに書けばよいかと思うのですが、その前に確認をさせていただきました。他にもご提案がございましたら、提案シートへご記入をお願いいたします。市民目線に立ったより分かりやすいアンケートとなるようなアイデアなどもあれば、そういったご意見もぜひ提案シートに書いていただければと思います。

市民アンケート及びサブ指標について、ご意見やご質問はありますか。

## 高山委員

市民アンケートに関する質問です。アンケートの対象について、最終目標としては全市民から回答を得ることを目指しているのでしょうか。

## 事務局

ご質問ありがとうございます。市民全員からアンケートの回答を得ることは難しいので、単純に数を目指してはならず、総合計画の指標として有効な数値が得られる割合の市民から回答してもらうことを目指しています。

## 久会長

ちょうど今行われている参議院議員選挙についても、メディアの方々が支持政党等について有権者にアンケートを取られています。これも国民全員に聞くことはできないので、いわゆる無作為抽出で得た数字を割合として国民全体の傾向とする統計学的方法を取りますが、檀原市においてもそれと同じようにするというわけですね。ただし、先ほど事務局から説明があったように、無作為抽出された対象者に偏りがあると、割合として出した数字が不安定になってしまいますので、檀原市民全体の傾向としての割合となるよう、まんべんなく抽出する必要があります。その方法について何かご意見やアイデアがございましたら、お聞かせいただければと思います。

他にご意見はよろしいでしょうか。それでは、ご提案がある方のみで結構ですので、資料5にお書きいただいて、7月20日までにご提出をお願いします。次回の全体会において議論できればと考えております。

## 久会長

これで本日の議事は以上となりますが、振り返りも含めて、何か全体でご意見やご質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。次回は部会ごとに検証をすることになりますので、少人数で対面でお話しさせていただけることと思います。その時も是非ご発言をお願いいたします。

それでは、本日の議事を終了とさせていただきます。円滑な進行にご協力いただきありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

## 事務局

久会長、ありがとうございました。以上で予定していた案件は全て終了いたしました。皆様におかれましては、長時間にわたるご審議ありがとうございました。オンライン開催ということもあり、皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしたかと存じますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。お配りしております資

料3-3「効果検証シート」及び資料5「市民アンケート・サブ指標提案用シート」は、説明にもございました通り、7月20日(水)までに、企画政策課宛に書面又はメールにてご送付いただきますようお願いいたします。また、本日締切となっております「施策評価事前質問票」及び「効果検証事前質問票」は、担当課に確認のうえ、評価部会までに委員の皆様にご回答いたしますので、誠に勝手ながら本日中にご提出いただきますようお願いいたします。

次回の総合政策審議会は7月12日(火)、13日(水)に評価部会を、8月10日(水)に全体会を開催する予定です。場所は、評価部会につきましては大和信用金庫八木支店、全体会につきましてはオンライン開催を予定しております。皆様のご出席、ご審議よろしくをお願いいたします。

それでは、これで本日の総合政策審議会を閉会いたします。皆様ありがとうございました。

(以上)